



学校だより

第7号 ジャカルタ日本人学校
令和7年(2025年)9月30日
発行: 校長 谷口幸一郎
TEL: 021-745-4130

秋分の日

先日、日本では「秋分の日」を迎えました。今年は9月23日でしたが、年によっては24日になることもあります。そもそもこの日には祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶ祭日になります。秋の彼岸の中日で、彼岸というのは春分及び秋分の日を挟みます。それぞれの前後7日間を「彼岸」といい、初日を「入り」、最終日を「明け」といいます。

彼岸には墓参りをしたり、郷土の料理を作ったりする習慣のある所もあります。「彼岸はどうするの?」と母からよく言われていました。実家に帰ると、「煮しめ(根菜類の煮込み)や、おはぎなど」が用意しており、それらを仏壇に供えたり家族でお墓参りをしたりしていました。実は23日、ジャカルタでも亡くなった方の慰霊祭が行われました。海外に住んでいると、このような習慣を忘れがちですが、子供たちには保護者の皆さんの住まわっていた地域の習慣を是非伝えてください。(春分の日にはぼた餅を供えます。)

ご案内のように、秋分の日、太陽が真東から出て真西に入る。つまり昼と夜の長さが同じくらいになり、この日以後、夜の時間が長くなっていきます。(南半球では逆) また、「暑さ寒さも彼岸まで」と言うように、日本でも秋をやっと感じる季節が訪れているようです。

この機会に、私は子供たちにこんなことを話してきました。

君たちの一人一人はみな、百万人、千万人の祖先の生命の延長であり、祖先のもっていた素質を全部持っているのです。あらゆる可能性を秘めていて、何人も自分に代わることのできない使命を、一人一人が背負っているということです。みなさんには、お父さん、お母さんがいます。そのお父さん、お母さんにも、それぞれお父さん、お母さんがいて、それをずーっとたどっていくと、自分とつながりのある祖先が何百万、何千万にもなることがわかるはずです。君たちはその祖先の生命を一身に受け継いでいることになります。

そういう祖先の中には、書道の達人がいたかもしれません。学問の好きな人、文章の上手な人、米作りの上手な人、料理の上手な人、スポーツの得意な人もきっといたはずです。そういう祖先の素質を、君たちは受け継いでいるのです。私たちが勉強する、努力するというのは、そういう祖先がもっていた素質を生かそうとする行為です。つまり、君たちには無限の可能性が体のどこかに秘められており、それを引き出すために色々なことにチャレンジすることが大切です。

低学年のお子さんには紙に自分の祖先をたどらせて、その数を数えさせてあげてください。そして、自分の生命はずーっとつながっていることを実感させてあげてください。

デモへの対応「ありがとうございました」

8月28日に始まったジャカルタ市内中心部のデモ、あっという間に大規模なものになり、29日には子供たちの下校にも影響が出そうな状況になりました。このような中、子供たちの安全確保の観点から、**早々に緊急下校の措置**をとらせていただきました。その後も、1日、2日も学校休業、3、4日はハイブリッド対応を行いました。デモの拡大がどのようなになるか、とても心配しましたが、とりあえず今は落ち着いた状況にあります。

す。

海外の学校では、子供たちの学力保障も大切ですが、それよりも子供の安全確保がもっと重要です。これまで本校においては、デモの関係で学校休業を行ったり、1998年には、子供たちが学校から1日帰られなくなり、その後、在ジャカルタの日本人が日本への避難を余儀なくされたりしたこともありました。また、私がドバイに赴任する数か月前に湾岸戦争があり、クウェートの日本人が人質になったこともありました。その時は、湾岸地域の日本人学校はすべて休業になり、邦人は日本へ一時避難をさせられました。

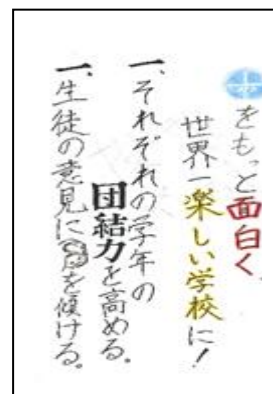
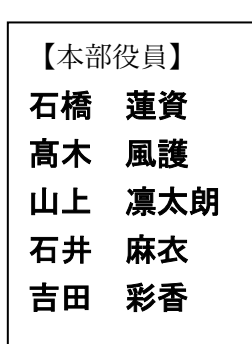
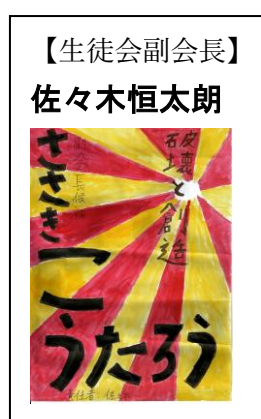
昨今、中国での痛ましい事件もそうですが、邦人が狙われるケースも目立っています。平常は平和にあるジャカルタではありますが、ここは海外です。常にこのことを念頭に生活したいものです。生活するにあたっては、**危険情報を大使館はもちろん、様々な機関から受け取ることができるようにしておくことが大切だ**と思います。

中学部生徒会選挙

「校長先生、部活にバスケ部を作ってください。」と言ってきた子供がいます。「だったら、実際にどれぐらいの人が希望しているのか。指導できる先生がいるのか。など調べて来なさい。」と返しました。中学生になるとこのようなこともできるようになります。**生徒会は、生徒中心に行う自治活動**です。

これまでに、掲示板に立候補者のポスターが貼られたり、応援演説者の演説があったりしながら、選挙期間が盛り上がっていました。19日（金）には、各候補者の立会演説会があり、生徒会長への立候補者、副会長への立候補者、執行部への立候補者がそれぞれ短時間に自らの思いを訴えていました。その後、タブレットによるオンライン投票が行われました。

結果、**次の子供たちが次の生徒会を担う**ことになりました。SMP2の生徒が中心になりますが、きっとジャカルタ日本人学校をさらに盛り上げてくれると思います。



インフルエンザ等の感染症拡大

4学級がインフルエンザによる学級閉鎖を行いました。「保健だより」でもお知らせがあったように「手洗い・うがい」はもちろん、「外出時のマスク着用」など、コロナ禍での対応を思い出してほしいと思います。また、登校時にはお子さんの体調の確認をお願いします。（登校時から具合の悪い子も散見されます。体温が高いときには無理して登校させないでください。）